

仕入先への責任

基本的な考え方

矢崎グループは経営基本方針に掲げる「オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る」に基づき、取引の可能性を最大限に確保するとともに、仕入先と共同で中・長期の目標を設定し、共有しながら協調的投資を行い、新規開発やコスト低減に伴う成果の共有を行うことを「調達ガイドライン」に定めています。

調達ガイドラインに示す行動指針

1. 開かれた公正、公平な取引を行う
2. 調達相手先と一体となった競争力強化を行う
3. 調達相手先との「共生」「共育」を図る
4. 原価低減活動等における課題・目標の共有と成果のシェアを行う
5. 相互信頼に基づく双方向コミュニケーションを確保する

サプライチェーンの取り組み

CSR調達の取り組み

矢崎グループでは、仕入先とCSRに関して共通認識をもち、ともにCSR活動を推進することを目的に、2015年11月に「仕入先様CSRガイドライン」ならびに「仕入先様CSR自主点検チェックシート」を策定し、国内外約570社に配布しました。仕入先には本ガイドラインに基づいたCSRを推進していただくことに加え、各社の仕入先に対しても同様に展開いただくよう、お願いをしています。

2018年度は、安全・品質、人権・労働、コンプライアンス、環境、リスクマネジメントといったCSR全般に関する仕入先の取り組み状況を確認するため、「仕入先様CSR自主点検チェックシート」を国内仕入先約400社および海外仕入先約250社に配布し、自主点検の実施をお願いしました。さらに、その調査結果を仕入先各社にフィードバックしています。加えて、スコアリングの結果などを考慮し、改善が望ましい仕入先に対し、優先的に直

接対話の場を設け、各社取り組みの改善につなげる活動を行いました。

今後も継続的に仕入先と連携し、CSR調達を推進していきます。

矢崎グローバル仕入先総会の開催

矢崎グローバル仕入先総会は、仕入先と双方向のコミュニケーションを通じて、調達方針や課題を共有し、共存共栄を図るために、毎年1回開催しています。

2018年7月の総会では、原材料、電子、計器、ワイヤーハーネス部品、設備・資材、物流の仕入先の、国内外149社にご参加いただきました。当日は社長から、矢崎グループを取り巻く経営環境と「ものづくり企業としての基盤確立」をコンセプトとした重点施策を説明しました。

また調達室長からは、ワイヤーハーネスの生産動向や各種部品、原材料の需要動向に加え、矢崎グループ調達方針「BCPの見直し」、「コンプライアンス遵守」、「収益力の向上」を共有するとともに、仕入先と「共に歩み、共に育つ」の精神のもと、原点に立ち返って基本を徹底することをお願いしました。

さらに、相互協力を一層深めるため「仕入先との交流を図り、新規ビジネスへ繋げる“気付きの場”」をコンセプトに技術交流会を開催し、仕入先から矢崎グループの部品事業競争力の強化に向けたご提案をいただきました。矢崎グループからはグローバル調達の最適化に向けた活動事例、開発アイテムを紹介したほか、仕入先同士の意見交換の場としてもご活用いただきました。



グローバル仕入先総会

仕入先との共存共栄に向けた取り組み

矢崎グループでは、共存共栄に向けた協力会「矢栄会」において、定期総会や情報交換会などを通じ、サプライチェーン全体のCSRの推進と日常管理の徹底をお願いしています。

矢栄会活動では、矢崎グループ調達方針に基づいて勉強会を開催し、相互の企業価値向上に努めています。

また定期総会の際には、外部講師を招き、「CSR経営の理解と必要性高まるCSR調達のポイント」をテーマに勉強会を開催しました。

今後も仕入先とのコミュニケーションを密にし、共存共栄に向け取り組みを継続します。

紛争鉱物調査への対応

矢崎グループは、調達活動における社会的責任を果たすとともに、自動車メーカーをはじめとするお客様からの要請に対応するため、毎年サプライチェーンを遡って紛争鉱物調査を実施しています。また、紛争鉱物の国際団体であるRMI (Responsible Minerals Initiative) の会員として、定例会議や製錬業者監査への参加など世界中の製錬業者特定のための活動に貢献しています。

今後も仕入先や各種業界団体と一層の連携を図りながら、コンフリクトフリーな原材料調達をめざします。



矢崎紛争鉱物対応調達方針

<https://www.yazaki-group.com/csr/conflict.html>

TOPICS

品質標準化推進仕入先説明会の開催

品質管理基準書の改訂にともない、2018年11月に品質標準化推進仕入先説明会を開催しました。本説明会では改訂にともなう変更点について、品質マネジメント、製造工程管理、生産準備、環境負荷物質管理の4本の柱を中心に説明し、なかでも品質マネジメントについては、IATF16949*で求められる要求事項も含めて説明しました。また、2018年9月に改定した矢崎グリーン調達ガイドラインについても説明しました。

今後も仕入先と連携しながら、品質向上に努めていきます。

※IATF16949：自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格



品質標準化仕入先説明会